

道路施設管理包括的民間委託導入検討事業について

1 背景と目的

本市では、道路、河川等のインフラが急速に老朽化する中、従来の維持管理手法では多様化する行政ニーズに対応しきれず、加えて、専門的な知識を有する技術職員の確保が難しくなっていることも、持続可能なインフラ管理体制の構築における大きな課題となっています。

この課題に対応するため、国は、民間事業者の技術力及び創意工夫を活用する「包括的民間委託」を有効な施策として位置付け、導入を推奨するとともに、具体的な進め方を示すガイドラインを策定しています。

全国でも導入事例が増えており、本市でも導入の可能性を検討するため、国土交通省の「先導的官民連携支援事業」の採択を受けて、国の補助金を活用し、道路・河川施設の維持管理に関する包括的民間委託の導入検討調査を進めることとしました。

「**亀山市インフラメンテナンス人材育成・仕事魅力向上検討調査**」として事業採択

インフラメンテナンスに包括的民間委託を導入するだけでなく、本市の大きな課題である人材不足・技術継承をインフラメンテナンスの仕組みと一体化することを目的とした取組です。

※取組内容が先導性・モデル性があるものとして事業採択されたものと考えています。

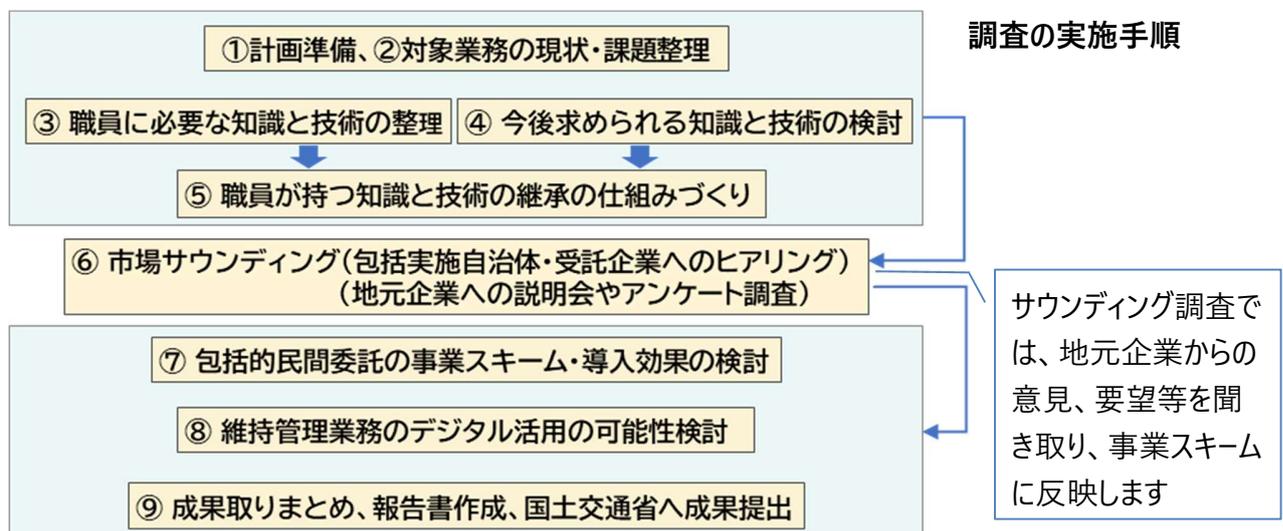
業 務 名：亀山市インフラメンテナンス人材育成・仕事魅力向上検討調査

履行期間：令和7年7月7日～令和8年3月6日

受 注 者：株式会社オリエンタルコンサルタンツ（委託金額：12,342,000 円）

2 今後の調査スケジュールと進め方

今後の調査では、現状と課題を整理した上で方針を検討し（①～⑤）、市場サウンディング（⑥）を通じて地元企業の理解促進と意見・要望の把握を行います。その結果を踏まえ、本市に適した事業スキーム（⑦～⑧）を検討し、導入による効果と課題を明確にします。



今後の調査スケジュール

業務区分	年 月	令和7年度									
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① 計画準備		■									
② 対象業務の現状・課題整理		■	■	■						履行期限	
③ 職員に必要な知識と技術の整理			■	■	■						
④ 今後求められる知識と技術の検討			■	■	■						
⑤ 職員が持つ知識と技術の継承の仕組みづくり				■	■	■	■				
⑥ 市場サウンディング（包括実施自治体・受託企業）						■	■			国土交通省 に成果提出	
市場サウンディング（地元企業説明会）							■	■			
⑦ 包括的民間委託の事業スキーム・導入効果の検討				■	■	■	■	■			
⑧ 維持管理業務のデジタル活用の可能性検討						■	■	■			
⑨ 成果取りまとめ、報告書作成								■	■	↓	
※令和8年度以降については予定		令和8年度					令和9年度				
		4	6	8	10	12	2	4	7	10	
公募条件の確定、公募準備		■	■	■	■	■	■				
地元企業等へ公募条件の説明				■			■				
包括的民間委託の予算案の提出							■				
包括的民間委託の公募開始								■			
優先交渉権者の決定、契約協議、引継ぎ									■		
包括的民間委託の開始										● →	

令和10年度以降に事業についての評価・検証を行う

3 期待される効果

- ・ 包括的な契約によって対象業務を一括発注することで、契約・発注の手続が簡素化され、行政内部の業務負担及びコストの縮減が可能となります。
- ・ 民間事業者の専門的なノウハウ、新技術等の活用により、維持管理業務の合理化、効率化及び住民サービスの質の向上が期待されます。
- ・ 公務員（特に技術職員）の人材確保が困難となっている中で、新しい働き方により、次世代の人材確保・定着を促し、限られた体制でも技術・ノウハウの維持・継承が可能な仕組みを目指します。
- ・ 受注する業者側にも、複数年度の契約により安定して業務が確保できることで、人材確保、建設資材等の購入時にスケールメリットを得られます。

